

2013年
4月20日
発行
第78号

北九州地区労連

発行：北九州地区労働組合総連合（〒802-0071 北九州市小倉北区黄金町 1-4-9 山本ビル 207号

TEL 921-0747

ホームページアドレス http://www.geocities.jp/k_roren/

Eメールアドレス k_roren@ybb.ne.jp

FAX 921-0284

2013年春闘 統一行動

健和会労組 街頭署名宣伝行動に160人が参加

大幅増員「夜勤改善署名」
403筆集まる！

健和会労働組合は13春闘の産別統一行動日である3月14日（木）に、小倉駅・戸畑駅・エル苅田前の3ヶ所で「安全・安心の医療・介護実現のための夜勤改善・大幅増員を求め」国会請願署名活動を行いました。活動では、東日本大震災以降、日本における「医療崩壊」「介護崩壊」の実情が改めて明らかとなり、その中で、医師・看護師・介護職員等、医療・介護で働く人手不足が浮き彫りになったことや、日本の看護師の数が欧米諸国に比べて圧倒的に少ない現実と、看護労働の

過酷さから、離職者が後を絶たない現状を訴えました。

寒風が吹く中、全体として約160名の組合員が行動に参加し奮闘しました。参加者・署名数の各行動場所の内訳は、小倉駅114人・305筆・戸畑駅38人・100筆・エル苅田12人・78筆でした。

大幅増員・夜勤改善署名については、5月の国会署名提出行動日まで、引き続き集約をしていきます。

郵政産業労働者 ユニオン（旧郵産労）

一時間ストに突入

3月19日7時、若松郵便局前で、郵政産業労働者ユニオンは、13年春闘勝利、非正規労働者の正社員化、均等待遇、ベアを求めてストライキ突入集会を開き、8時から9時までの1時間ストライキに突入しました。

一人でも毅然とスト

3・19ストライキは全国26の郵便局でたたかれ、若松郵便局では1人の組合員が毅然とストライキを行いました。



若松郵便局前でのスト支援集会

然とストライキを打ち抜きました。

組合の枠を超えて支援

このストライキを支援するために、北九州地区労連、連合全国一般、ユニオン北九州、北九州地域ユニオン、福岡県労連、門司地区労など、全労連、全労協、連合の枠を超えた、30人を超える労働者が駆けつけ、ストライキに参加した労働者を激励しました。

県内では、医労連、民放労連、スBC労組、TNC労組、通信労組、郵産労がストライキを行いました。要求提出と回答の引き出しは昨年並みながら、回答は額・率、ベア獲得組合数ともに前年を上回る傾向を示しています。

ミーデー準備急ピッチ 第3回実行委員会開かる

4月12日（金）18時30分 小倉北区生涯学習総合センター1階会議室で、第84回北九州統一ミーデー第3回実行委員会が開かれました。

ミーデー実行委員会には、北九州市職労、健和会労組、福建労、建交労、北九州地域ユニオン、国公、母親連絡会、Fコープ生協労組、北九州地区労連、北九州つたごえ協議会、国労、年金者組合、学嘱労、北九州市教労、北九州市民の会、JMU安心部、日本共産党など約300人近く参加しました。

◆ 本祭典

日時 5月1日（水）10時
場所 小倉城天守閣横広場

■ 事前集会

八幡・戸畑・若松地区は
金田公園 9時集合
門司・小倉地区は
堺町公園 9時集合

9時20分 デモ行進出発



第3回実行委員会風景

雨上がり

3月初めに風邪をひいてしまいましたが、その後約10日位、咳・くしゃみが止まらない状態が続きました。

病院からは何かしらのアレルギーが原因だろうと診断されました。原因は？…花粉症、もしくはハウスダストか、はたまたPM2.5か？

アレルギーをウィキペディアで調べてみますと…免疫反応が、特定の抗原に対して過剰に起こることをいう。免疫反応は、外来の異物（抗原）を排除するために働く、生体にとって不可欠な生理機能である…だそうです。

組合運動と照らし合わせてみると、労働法等の理解が浅い経営者にとって組合活動する組合員はアレレゲンにあたるのだろう。しかし企業にとって従業員は企業活動する上での経営資源の一つなので、現代においていかに良い労使関係を築いていくかだと思ふ。（当然良い関係を作るべく活動されているとは思いますが…）

しかし、アベノミクスの大らかな金融緩和やTPP参加問題で景気が上昇するのか？

更には環境破壊による世界的な異常気象による穀物不作や地震等の災害、また北朝鮮の動向などで世界情勢がどう動くのか？まだまだ先行き不透明な状況が続いていきます。

北九州地区労連(裏面)

「3・20福岡県民のつどい」 福岡の中心で未来をさげぶ



会場いっぱいの参加者

「福岡の中心で未来をさげぶ 憲法・雇用・子育て・原発を考える県民のつどい」が3月20日福岡市都久志会館で開かれ、北九州地区労連からは、中山議長、小田事務局次長が参加しました。全体で500人を超える参加で、会場は立ち見がでるほどでした。

小説「世界の中心で愛をさげぶ」の著者、片山恭一さんが「ぼくたちは何を守ろうとしているのか」ウィルス、テロ、放射能」と題して講演。片山さんは講演で、ウィルスやテロ、原発など、目に見えない危険が普遍的に生活の中に存在しているとし、軍事力などで押さえ込むやり方では、より深刻な事態を招



くだけで対処できなくなると指摘。生命を守っていくためには対立を招かない「愛」のある対話を重ねていくべきとしました。

続いて行われたパネルディスカッションでは、原発、雇用、憲法、労働問題について話し合いました。原発事故避難者支援を芝野彰子さん、建設現場で働く労働実態を福建労佐々木貴智さん、憲法改定問題で後藤富和弁護士から発言がありました。

参加者からは「憲法がすべての根幹にあり、守らねばならないこと。避難生活を強いられる現実。建設業界の人権無視とも言うべき過酷な労働環境に驚き、アスベストの危険性を再認識」「自民党がとんでもない改悪を行おうとしていることに怒りを感じました」「憲法改正の話は焦眉の問題として曖昧には出来ません。夏の選挙でも憲法を守りましょう」などの感想が寄せられました。

安倍政権再登場と憲法の危機・記念講演
森 秀樹名古屋大学名誉教授
憲法改悪反対北九州共同センター第6回総会 開く



役員を代表してあいさつする前田憲徳弁護士

3月20日、戸畑区のウエルとばたで、憲法改悪反対北九州共同センター第6回総会がひらかれました。総会には前田憲徳弁護士の挨拶のあと、江口運営委員が2012年の活動報告、2013年運動方針(案)、役員選出などの議案を提案し確認されました。

新役員が決まりました

前田憲徳氏(自由法曹団) 小田恭司氏(北九州地区労連) 江口佳郎氏(福岡県平和委員会) 大内百合子氏(新日本婦人の会) 須崎和幸氏(革新懇) 合田充氏(民主商工会) 青木信恭氏(日本共産党) 野瀬秀洋氏(オプザーバー) 富崎豊和氏(事務局員)

森教授の憲法講演

自民党の改憲草案を批判

総会終了後の記念講演では、名古屋大学名誉教授、森秀樹氏が「安倍政権再登場と憲法の危機」と題して2時間にわたり、熱く今の憲法をめぐる情勢について語ってくれました。

森英樹さんは、憲法9条を改憲し、国防軍を持つとする自民党の改憲草案を分析し、反対運動の強化を訴えました。さらに、近代憲法の建前(人権保障が核心、権力を縛る)の意識的無視、近代憲法の原則の放棄を指摘しました。同時に、安倍改憲路線の矛盾も見ることを勧めます。押し付け憲法観、戦略戦争美化・戦犯否定路線は、逆に包囲されると指摘しました。

最後に、森英樹さんは「9条の精神は、もめごとを暴力で解決しようとするな。」この崇高な理想を大事にしよう」と結びました。



参加者からの感想

終了後には、参加者からたくさん感想が寄せられました。

*9条改憲するために96条を改憲しようとする今の政権に対し、96条を絶対に守らなければならないと思います。特に、自・公・民と維新が、このハードルは出ると思っているようですが、この憲法を守るかどうかは、私たちの今後のたたかい方にかかっていると思います。

*「安倍政権の再登場と憲法の危機」が詳細、明快に判りました。素晴らしい講演をありがとうございました。

*9条改憲が表面に出ているが、まさに96条以下の改正が大問題という事の説明が明快だった。日本国憲法の名あて人はだれか?近代憲法とは何か等等、多くの人に伝えなければならぬと思う。



記念講演で熱弁をふるう、森秀樹名誉教授